

令和5年度 社会福祉法人 協愛福祉会 施設自己評価表

(保育理念)

Happy+Natural
Happy+challenge

(保育目標)

げんきな子 やさしい子
がんばる子 ゆたかな子

A：よくできている

B：わりとできている

C：一部改善が必要

D：改善しなければならない

	内容	前年評価	今年評価	現状・課題
保育目標について	(1)保育士一人一人が、協愛福祉会の保育理念、保育目標を理解している	B	C	保育理念や4本柱がすぐに出ない職員もいた。ケガや事故無く日々を過ごすことにいっぱいだったので、今後は理念や4本柱を意識して楽しい保育が出来るようになると良い。
	(2)子ども一人一人の主体性を大切に保育をしている	C	B	
	(3)すべての子どもについて一人一人の存在と、その人種を尊重している	C	B	
保育について	(1)保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間計画、月のカリキュラム、週案を立てている	B	B	子どもについて話し合うことは多く出来たが、どうしても問題行動に注目してしまい、安全に怪我無く過ごすにはどうすれば良いかばかり考えてしまった。保育について子どもについて話す習慣はできてきたので、今後は子どもたちの興味を広げられるよう、保育の話をしていきたい。
	(2)3歳未満児は、現在の姿を理解し、一人一人に保育計画を立てている	B	A	
	(3)素材・用具を適切に使用している	C	D	
	(4)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している	C	C	
	(5)職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで、保育を行っている	C	B	
	(6)1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよい	C	C	
食育について	(1)食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている	C	B	食に対して興味のない子どもが多く(特に5歳児)、1年間どうすれば楽しく食事ができ残菜が減るのか考え続けた。大きな成果は見られなかったが、考え続けた1年となり、今後に活かしていけたらと思う。
	(2)栄養士、保育士が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食になるよう努めている	C	B	
	(3)アレルギー疾患等の子どもに対し医師の指導の下、保護者との連携を図り適切な対応を行っている	B	A	
役員構成・研修について	(1)職員の仕事や役割が明確であり、それぞれの仕事を責任を持って行っている	C	C	それぞれが自分の仕事を責任をもって行っていたが、計画通りには出来ず、ギリギリになってしまう事も多かった。しかし、皆で助け合い、協力する姿が見られたのは良かった。今後は、BCPを全体で確認する時間を作っていきたい。
	(2)危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整えられている	C	C	
	(3)園内外の研修は計画を立て実行している	B	B	

保護者支援・情報	(1)保護者に対して、丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心掛けている	B	B	前半はなかなか保護者とゆっくり話せず、情報共有が出来なかったが、後半はお迎え時や個人面談等で、個々に子どもの様子を伝える事ができていた。ドキュメンテーションをタイムリーに出すのが難しかったので、今後はもっと発信できると良い。
	(2)保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え、連携をとっている	B	B	
	(3)様々な園行事を通して保護者との良好な関係を築こうとしている	B	B	
	(4)園日より、ドキュメンテーション、きつずノート、ホームページ等を通して、保育内容や子どもの姿や保護者への情報を発信している	C	C	
	(5)子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している	B	A	
	(6)職員に、園内で知り得た事柄に対しての守秘義務を周知徹底している	B	B	

開かれた 保育園	(1)小学校と連携し、情報交換をする機会を待つ	C	B	初めてお互い行き来し、小学生との交流を行う事ができた。まだお互いの様子を知る事くらいしか出来なかったため、今後はもっと情報交換ができるようになると良い。
	(2)気になる子どもの対応について、外部の専門機関と連携をとりながら対応している	B	B	

子育て支援	(1)地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている	D	D	見学者に対しては話を聞いたり悩みを聞いたりする事ができた。地域へ対しての発信は現段階ではインスタグラムでの発信のみとなっている。
	(2)子どもの心身の発達や育児不安について気軽に相談できるように努めている	B	B	
	(3)園生活の子どもの様子を地域にも発信している	B	B	

総合的な現状と課題

<p>1・2歳児クラスは合同にすることで、子どもたちも互いに良い刺激になり成長が見られた。職員も協力し合って保育できており、改善すべき点もあったが良い点が多かった為、この流れをベースに次年度以降も保育していく。</p> <p>幼児クラスは流れができるまで落ち着かず、課題が多く見られた。特に5歳児クラスが危険な行動が多く、全職員で見守るようにしていった。途中担任が不在の期間もあったが、幼児クラスの職員が中心となり、皆で5歳児クラスをフォローしていった。園全体で5歳児クラスの事を考えていくことで、職員一人ひとりが、自分のクラスにこだわらず園全体の子どもを見守るという気持ちが出てきたように感じる。特に配慮の必要な子どもたちは、色々な職員が関わる事で、良い影響を与えられた。(職員も子どもも気持ちをリセット出来たり、色々な関わり方をする事で、何がその子に合うか考えたりできた)</p> <p>今後は、子どもたちのつぶやきを拾い、興味を広げ楽しい保育をして行きたい。その為にも環境設定に力を入れていきたい。</p>	
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

園名 ひなたの森保育園

氏名 廣澤麻美